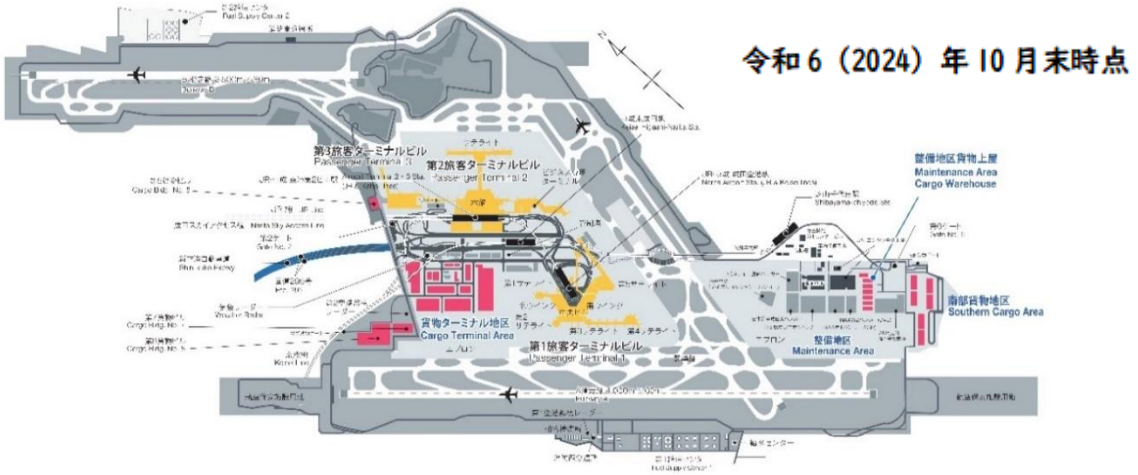
令和 7（2025）年度
成田国際空港周辺航空機騒音測定結果（年報）

令和 8（2026）年 10 月

成田市空港部空港対策課

はじめに

成田国際空港（以下「成田空港」という。）は、昭和 53（1978）年 5 月に新東京国際空港として開港しました。当時の設置者は新東京国際空港公団でしたが、平成 16（2004）年 4 月の民営化に伴い、新たに成田国際空港株式会社（以下「NAA」という。）が設立され、併せて空港名も改称されています。現在の成田空港の施設は下図及び下表のとおりであり、A 滑走路（4,000m、運用時間 6:00～0:00）と B 滑走路（2,500m、運用時間 6:00～23:00）の 2 本の滑走路等で運用しています。



No.	主要施設	施設の概要　※令和 6（2024）年 10 月末時点
1	敷地面積	約 1,137ha
2	滑走路	A 滑走路（長さ 4,000m×幅 60m） B 滑走路（長さ 2,500m×幅 60m）
3	誘導路	延長約 31.2km（幅 30m・幅 25m・幅 23m）
4	航空保安無線施設	ILS 4 式・VOR/DME 2 式
5	エプロン	面積約 243ha
6	旅客取扱施設	第 1～第 3 旅客ターミナルビル（延床面積約 92.1 万㎡）
7	貨物取扱施設	貨物ターミナルビル等 21 施設（延床面積約 28.6 万㎡）

（出典：NAA ホームページ）

本書は、令和 7（2025）年度における成田空港周辺の航空機騒音測定結果について、本市がこれまでに蓄積してきたデータと併せて整理したものです。第 1 章では運航状況、第 2 章では航跡測定結果、第 3 章では騒音測定結果について記載しています。本書を通じて一人でも多くの皆様に成田空港や成田市域の航空機騒音等の現状への理解を深めていただくための一助となれば幸いです。

なお、本書の作成に当たっての測定情報等については、特段の記載等がない限り、公益財団法人成田空港周辺地域共生財団（以下「共生財団」という。）から提供を受け、本書への引用とともに、本市独自検証のための基礎資料として活用しています。

目次

第 1 章 運航状況 ・・・ 1

1-1 年間の運航状況 ・・・ 1

1-2 時間別・時間帯別の運航状況 ・・・ 4

1-3 機種別の運航状況 ・・・ 10

1-4 航空会社別の運航状況 ・・・ 14

1-5 離着陸制限（カーフュー）時間帯の運航状況 ・・・ 16

1-6 新型コロナウイルス感染症の流行に伴う運航状況の変化について ・・・ 18

第 2 章 航跡測定結果 ・・・ 21

2-1 航跡測定の概要 ・・・ 21

2-2 A 滑走路における航跡測定結果 ・・・ 24

2-3 B 滑走路における航跡測定結果 ・・・ 35

第 3 章 騒音測定結果 ・・・ 44

3-1 騒音測定の概要 ・・・ 44

3-2 騒音測定結果 ・・・ 47

3-3 本市における航空機騒音の状況について ・・・ 72

3-4 本市における夜間騒音と対策の方向性について ・・・ 76

（参考資料）

資料 1 令和 7（2025）年度航空機騒音測定結果（年報） ・・・ 91

資料 2 令和 7（2025）年度機種別音響パワーレベル推定結果 ・・・ 184

資料 3 WECPNL 年間値の推移 ・・・ 195